

第56回数実研（平成18年1月28日）

# 「数学科での中高連携」 その後④



北海道上川高等学校

教諭 若林理一郎

# 内容の構成

---

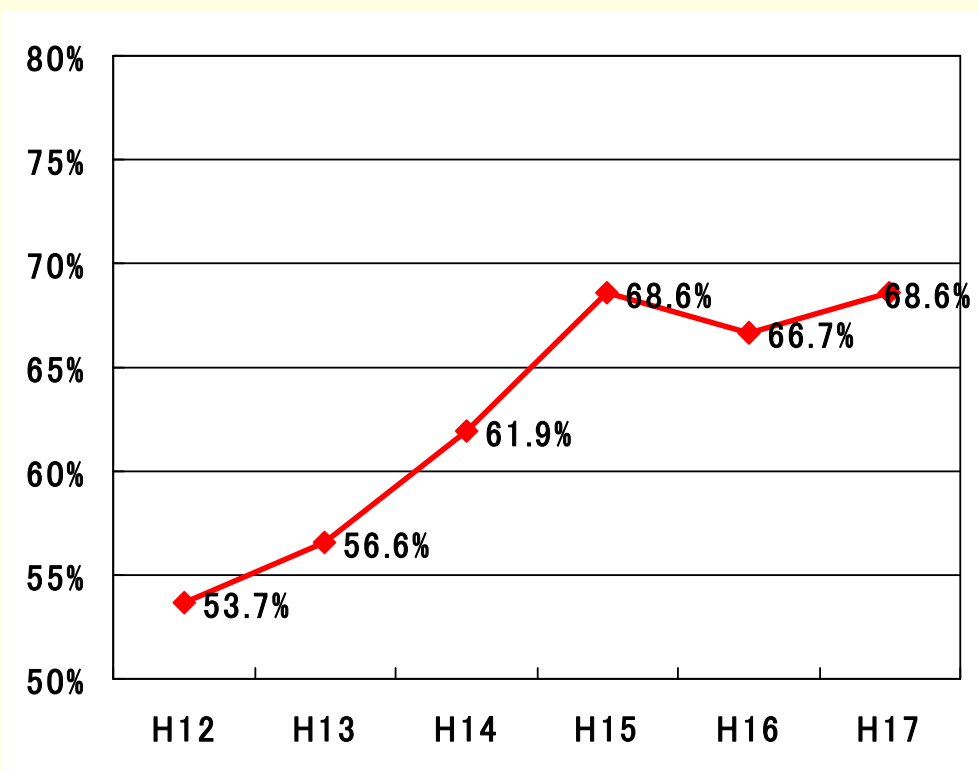
1. 本校の現状
2. 数学科における中高連携の実践
3. 最後に

# 1 本校の現状

- かみかわの中高一貫教育における連携の柱  
「地域・環境学習及び進路学習」
- 生徒数141名、一般教員20名  
少人数授業など「個に応じた指導」の実現
- 上川中学校卒業生の本校進学率  
約50% → 約70% に上昇！
- 魅力ある学校づくりの実践研究
  - 中高一貫教育改善充実事業指定校(文科省)
  - GLOBE推進事業指定校(文科省)
  - 北海道パイオニアハイスクール奨励校(道教委)→ 平成17年度北海道教育実践表彰受賞



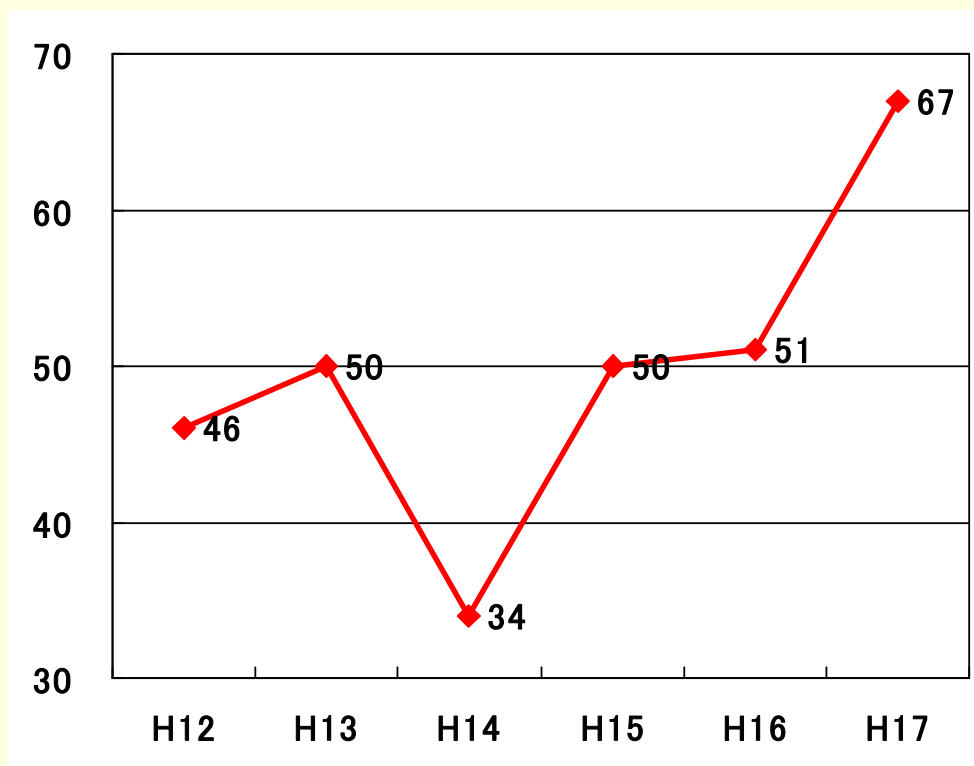
# (資料1) 上中から上高への進学率



	上中卒業生数	上高入学生数
H12	54人	29人
H13	53人	30人
H14	42人	26人
H15	35人	24人
H16	36人	24人
H17	35人	24人

平成18年度 上中3年生 → 34名中25名出願 (73.5%)

## (資料2) 入学者数全体の推移



	上高入学生数
H12	46人
H13	50人
H14	34人
H15	50人
H16	51人
H17	67人

平成18年度入学者選抜 → 現在、55名出願

## 2 数学科における中高連携の実践

- 中高数学科教員の打合せ
- 数学検定の合同実施
- 中高相互でのチーム・ティーチング
- 中学校FS(基礎学習)への高校教員の支援
- 合格内定者指導
- 中高連携教材の開発
- 中高計算力テストの実施



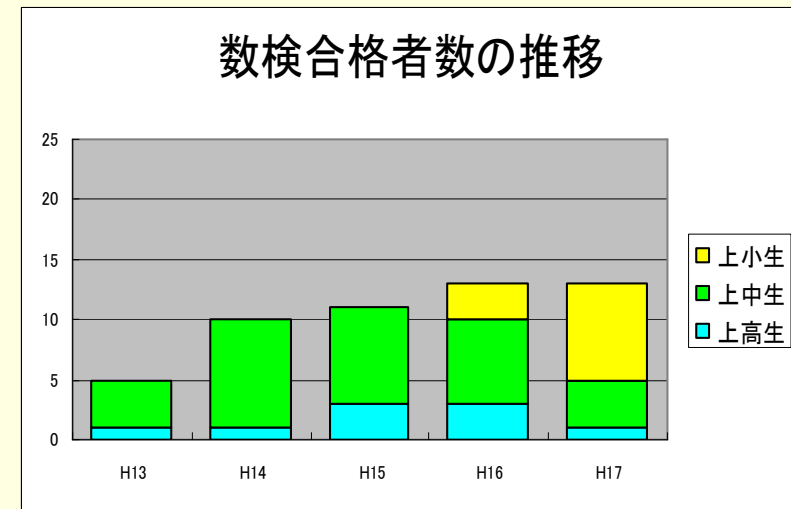
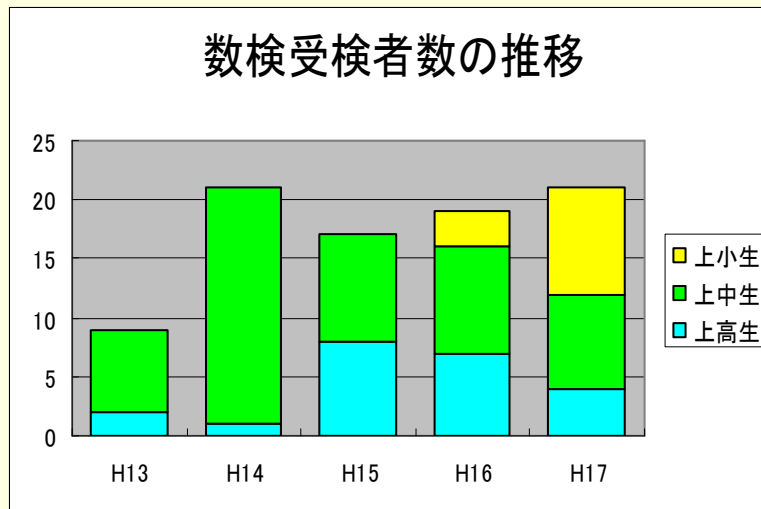
## 2-1 数学検定の合同実施

- 平成11年7月より、中高合同により実施
- 現在まで少数の受検ながらも、年3回実施
- 上中出身者による高校生の継続受検
- 準2級において複数名が合格(レベルアップ)
- 平成16年度より小学生も受験

- 興味・関心の高い生徒の増加
- 小中高の連携が可能



## (資料3) 数検の受検者数と合格者数



- 受検生の安定確保  
→ 小中高にわたっての継続的な取り組み
- 幅広い層からの受検者  
→ 「できない」「わからない」から「興味・関心」へ

## 2-2 合格内定者指導

- 連携型入試で合格内定した上中3年生を対象
- 国語・数学・英語を各3時間、5日間で実施
- 高校入学後に向けた基礎・基本の定着
- 数学は3展開で習熟度別授業を実施
- 3月には  
「チャレンジテスト」  
も実施

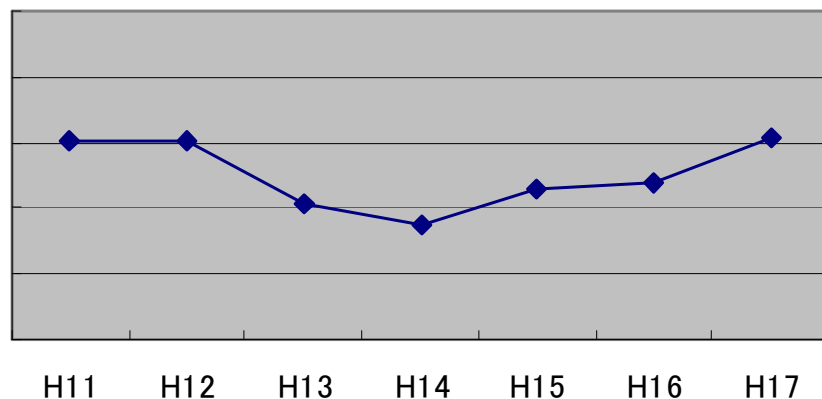


•「学力向上」の傾向

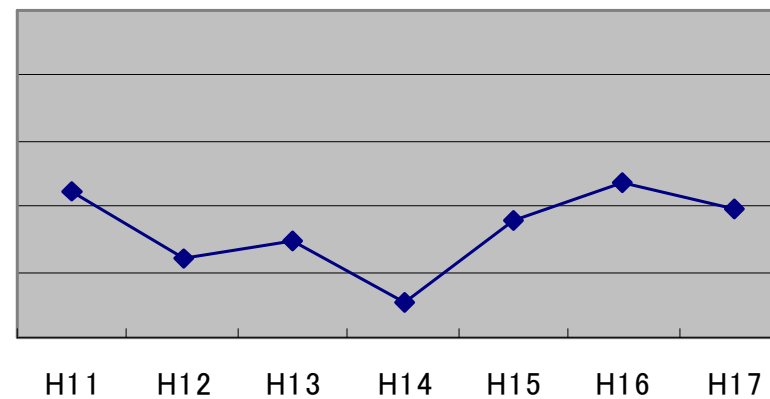
•「確かな学力」を培う

## (資料4) 上中出身者の学力推移

主要5教科の合計(全道比)



数学



中1より中高一貫教育を受けた受検生(現在の高1・2)の学力  
→過去の状況と比較して、上昇傾向にある。

### 3 生徒の『夢』実現のために

#### ■ 小・中・高の連携

1. 計算力テストの実施  
基礎・基本の定着及び発展的学習の展開
2. 数学検定の合同実施  
数学的な見方・考え方の育成及び応用力の強化

#### ■ 大学との連携

1. 相互のシラバスおよび授業研究

上級学校・社会が求める「数学の力」とは何か？

生涯学習社会に必要な「数学の力」とは何か？

を追求していくことの重要性